

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日
上場取引所 東

上場会社名 TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社
コード番号 4687 URL http://www.tdc.co.jp/
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)谷上 俊二
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)大垣 剛 (TEL)03(6730)8111
四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	5,104	16.7	356	54.7	371	52.7	229	58.0
28年3月期第1四半期	4,375	—	230	—	243	—	145	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 220百万円(29.1%) 28年3月期第1四半期 170百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	19.09	—
28年3月期第1四半期	12.08	—

(注) 平成28年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。平成28年3月期より連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	11,973	7,952	66.4
28年3月期	11,902	7,972	67.0

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 7,952百万円 28年3月期 7,972百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,360	6.7	600	△9.1	600	△10.8	385	△4.2	31.96
通期	22,200	6.0	1,570	18.8	1,570	20.2	1,000	27.7	83.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	12,556,800株	28年3月期	12,556,800株
29年3月期1Q	511,598株	28年3月期	511,578株
29年3月期1Q	12,045,204株	28年3月期1Q	12,045,422株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 平成28年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年6月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により企業収益が改善され、緩やかな回復基調が続いています。しかしながら、先行きについてはアジア新興国や資源国等の景気減速感や英国のEU離脱問題による株価下落など、不透明な状況が続いております。

情報サービス産業におきましては、先端技術に対する注目や、企業の競争力強化に向けた戦略的投資需要の高まりからIT投資需要は増加基調にあります。

このような環境の中で、当社グループは、平成28年4月から平成31年3月における中期経営計画のもと、「お客様から最も信頼されるパートナー企業の実現」を目指し、お客様の繁栄への寄与に努めております。また、お客様に密着し広範囲な工程や業務分野のサービスを提供するビジネスモデル（パートナー型ビジネス）と業務・技術に特化し、幅広く複数のお客様にサービスを提供するビジネスモデル（ソリューション型ビジネス）を強化し、そこから生じた利益を将来の事業基盤に必要不可欠となる人材、知財へ集中的に投資し、継続的成長を実現するための財産づくりを行う戦略を基本戦略に掲げております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、各事業分野の成長戦略が堅調に推移し、売上高は5,104百万円（前年同期比16.7%増）、営業利益は356百万円（前年同期比54.7%増）、経常利益は371百万円（前年同期比52.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は229百万円（前年同期比58.0%増）となりました。

【分野別の取組状況】

<アプリケーション開発分野(金融)>

アプリケーション開発分野(金融)は、金融業向けに業務アプリケーション開発の提供を行っております。当第1四半期連結累計期間は、銀行業向けやクレジット業向けの大型システム開発案件が堅調に推移しており、売上高は 前年同期比12.3%増収の2,861百万円となりました。

<アプリケーション開発分野(法人)>

アプリケーション開発分野(法人)は、流通業、製造業、サービス業や公共向けに業務アプリケーション開発の提供を行っております。当第1四半期連結累計期間は、製造業向けや流通業向けの開発案件等に取り組んだ結果、売上高は 前年同期比37.8%増収の990百万円となりました。

<ソリューション分野(インフラ・ネットワーク)>

ソリューション分野(インフラ・ネットワーク)は、ITインフラの環境設計、構築、運用支援、ネットワーク製品開発、ネットワークインテグレーション等の提供を行っております。当第1四半期連結累計期間は、官庁向けのITインフラ構築案件等に取り組んだ結果、売上高は 前年同期比13.3%増収の874百万円となりました。

<ソリューション分野(パッケージ等)>

ソリューション分野(パッケージ等)は、ストレスチェック支援ソリューション「M-Check+」、タレントマネジメントシステム「HuTaCT」、PaaS型クラウドサービス「Trustpro」等のクラウドサービス やBI/DWH、ERP/CRMに関連するソリューションの提供を行っております。当第1四半期連結累計期間は、「Trustpro」に関連する案件やBI、ERPに関連する案件等に取り組んだ結果、売上高は 前年同期比12.2%増収の377百万円となりました。

(単位：百万円)

分野	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
アプリケーション開発分野(金融)	2,547	58.2%	2,861	56.1%	+12.3%
アプリケーション開発分野(法人)	719	16.4%	990	19.4%	+37.8%
ソリューション分野(インフラ・ネットワーク)	772	17.7%	874	17.1%	+13.3%
ソリューション分野(パッケージ等)	336	7.7%	377	7.4%	+12.2%
合計	4,375	100.0%	5,104	100.0%	+16.7%

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より71百万円増加し、11,973百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金などの減少がありましたが、現金及び預金、仕掛品及び前払費用などの増加があり、前連結会計年度末と比較して15百万円増加し、9,948百万円となりました。

固定資産は、無形固定資産、投資有価証券の増加があり、前連結会計年度末と比較して56百万円増加し、2,025百万円となりました。

流動負債は、未払費用、未払法人税等などの減少がありましたが、短期借入金、預り金などの増加があり、前連結会計年度末と比較して107百万円増加し、3,824百万円となりました。

固定負債は、その他固定負債の減少があり、前連結会計年度末と比較して15百万円減少し、196百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少があり、前連結会計年度末と比較して20百万円減少し、7,952百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移していることから、平成28年5月10日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期において、四半期連結財務諸表への影響額ははありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,281,362	5,938,486
受取手形及び売掛金	3,796,208	2,804,037
仕掛品	232,863	567,647
繰延税金資産	512,478	512,658
その他	110,213	125,756
流動資産合計	9,933,126	9,948,585
固定資産		
有形固定資産	149,166	144,032
無形固定資産	145,188	178,845
投資その他の資産		
投資有価証券	1,109,724	1,144,228
関係会社株式	140,000	140,000
関係会社出資金	0	0
関係会社長期貸付金	20,000	20,000
繰延税金資産	5,599	1,128
差入保証金	395,020	395,020
その他	39,000	36,918
貸倒引当金	△34,776	△34,776
投資その他の資産合計	1,674,566	1,702,518
固定資産合計	1,968,922	2,025,396
資産合計	11,902,048	11,973,982
負債の部		
流動負債		
買掛金	832,942	805,444
短期借入金	412,000	1,050,000
未払金	215,457	218,854
未払費用	1,627,370	953,909
未払法人税等	298,070	150,968
未払消費税等	197,177	205,952
役員賞与引当金	65,300	22,740
その他	68,622	416,911
流動負債合計	3,716,940	3,824,782
固定負債		
繰延税金負債	42,293	40,002
関係会社整理損失引当金	10,383	10,383
資産除去債務	49,114	49,282
その他	110,891	97,237
固定負債合計	212,681	196,905
負債合計	3,929,621	4,021,687

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	970,400	970,400
資本剰余金	820,450	820,450
利益剰余金	6,140,938	6,130,014
自己株式	△223,010	△223,022
株主資本合計	7,708,778	7,697,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	263,648	254,452
その他の包括利益累計額合計	263,648	254,452
純資産合計	7,972,426	7,952,294
負債純資産合計	11,902,048	11,973,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,375,188	5,104,924
売上原価	3,489,831	4,029,047
売上総利益	885,356	1,075,877
販売費及び一般管理費	654,639	719,042
営業利益	230,716	356,835
営業外収益		
受取利息	142	184
受取配当金	12,568	13,577
その他	1,024	2,541
営業外収益合計	13,735	16,302
営業外費用		
支払利息	1,015	681
その他	—	726
営業外費用合計	1,015	1,408
経常利益	243,437	371,729
税金等調整前四半期純利益	243,437	371,729
法人税等	97,905	141,749
四半期純利益	145,532	229,979
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	145,532	229,979

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	145,532	229,979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,421	△9,195
その他の包括利益合計	25,421	△9,195
四半期包括利益	170,953	220,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,953	220,783
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

当社グループは、開発から運用・管理までの一貫したシステム開発サービス及びシステム製品の販売等を一体とするシステム開発事業を営んでおり、当社グループにおけるセグメントは「システム開発」のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。